

舵輪

海丸回航

今年海王丸は、四年に一度の定期検査工事と改修工事のため、11月7日頃海王丸パークを離れ、新日本海重工のドックに入ります。マスト、ヤード等の改修工事は次のとおりです。

- ・フォアゲルンマスト更新工事
- ・木製ヤード更新工事(8本)
- ・フォアマストのシユラウド、ラット
- ・ラインおよびステイ新替工事
- ・バウスプリットのガイおよびネット

新替工事
・ファイブレル支柱新替工事 etc
三月上旬には再び海王丸パークに戻ってくる予定です。約四ヶ月に及ぶ間、不在となりますが、また化粧を仕直して皆様の前に、美しい姿を披露できることと思えます。ご期待下さい。

室戸岬の甲斐

『秋の山での冬山体験』 玉井文次
第7回立山フェスティバルに参加。まず、立山駅にて受付を終え、芦峯寺雄山神社にて安全祈願祭と出発式が行われ、バスにて室堂へ移動。室堂山荘にて昼食。牛井が旨かった。

全体で約百名を四個班に編成。一班を先頭に登山を開始。前日の初雪で一ノ越からは雪の上を歩く。高くなるほど気温が下がり、雪もアイスバーンとなり、滑り易く、風も下から吹き上がり、益々強く、途中からは霰に変わり、顔に当たると痛い、これだけの人が完全な冬支度もなく、このような冬山へ登るのが大丈夫なのか心配になりました。

雄山の頂上へ到着。最終が登り着くまで一時間待たせ。更に、これからどうするのかミーティングが続き、一ノ越へ下るのは凍りついて危険であり、予定通り内蔵助山荘へ行くことになり大汝へ向かって出発した。

霰は降っていたが、雪は軟らかく、大汝小屋は締まっていたがその周りで後続を待つ。周りはガスが掛かり何も見えなく、風は益々強くなる。富士の折立の下

りでは特に吹き上がる風で、霰が顔に当たるのが痛く心えた。

真砂の按部では風を避ける所もなく、後続が遅れるため体を低くして待機させられたが、台風並の風に煽られ、突風が吹くと体ごと持って行かれるような状態になった。内蔵助山荘が見えなくなった。山荘へ入っても暫くは体の震えが止まらない。全員無事に到着したが、数人は寒さで足がつかずたり、動けなくなった人は何人かに担ぎ込まれ、暖かい部屋で体をさすり、介抱されて寝る頃には全員何とか回復したようです。

途中で以前に真砂岳で中高年者の遭難事故を思い出して、話題になった。夕食後、夕べの集いで佐伯尚幸氏の「立山からヒマラヤへ」の講演を聴取した。次の日も朝から雪で、昨夜からの降雪が小屋の周りでも十センチ位は積もっていた。

八時出発と決まったが、雪と風で別山、劔御前、雷鳥沢のコースは危険なため、大走りを下山し、地獄谷へ出ることにする。出発時、暫く周りのガスが消え、雪山と青空を満喫した。途中は雪や霰の中を大走りを下る。按部を下るため急傾斜で、一歩間違えると何百メートルかは滑り落ちるような所が続きます。地獄谷を通り、みくりが池を経由して自然保護センターで最終チェックを受け、今回の登山を終了した。

立山の初冠雪の日で、帰りのバスから三松、弥陀ヶ原の紅葉がきれいであった。紅葉を楽しみにしてきたのに冬山を体験。この時期の登山はあまり油断しないで、しっかりと雨具等、装備を準備していかねばならないことを身をもって経験し、山を甘くみてはいけなさと感じました。(9月27日、28日 登山)

『深江丸の旅』 301 武田信幸

皆さんは深江丸を知っていますか？ 深江丸とは神戸商船大学の練習船で、長さは五十メートル弱、総トン数は四百五十トン位です。帆船ではないのでマスト登りや、その他クープワーク等はありませんが、三十名程度一般の人が乗船で

きて、数日の船旅ができます。航海中は、「海と船の歴史」と題したテーマからいろいろ講義があります。大学の先生の話あり、船長の話ありと、全部で九時間程で、船船用語のミニ解説からなだしお事件を例に取った話など盛りだくさんです。その間は熱心に耳を傾けるもよし、居眠りするもよしです。(さて私はどっちでしょう?)

その他操舵体験もあります。これは希望すればかなり長時間舵をとることができま。

なお、船内での服装は私服でかまいません。行き先は坂出(錨泊、上陸なし)尾道(接岸、上陸あり)高松(接岸、上陸あり)です。坂出では瀬戸大橋を見上げながら錨泊、尾道と高松では上陸して自由見学と楽しむことができます。播磨灘では、行きと帰りに風が強く、少し荒れましたが、あとは順調な瀬戸内の船旅でした。台風接近で心配もしましたが、幸いそれとてほっとしました。

帆船もいいですが、深江丸に乗ってみてまた別の発見ができたようです。皆さんも一度どうですか？
(ちなみに)
私は、阪神大震災のあった頃、二年ほど神戸商船大学に出席しておりましたが、この深江丸の体験航海は、夏休みの期間に公開講座というものが行われ、その一つとして実施されているものことです。その他では、「インターネット入門」等のパソコン講座などが行われています。市川

お知らせ

『募る！ スキーツアー』

来年は冬季長野オリンピックの年です。我々も選手に負けないよう思いつきり、楽しく滑りましょう。

日程 2月27日(金)～3月1日(日) 記

場所 妙高方面 (赤倉もしくは池ノ平) 岐阜 朴ノ木平 のどちらか。 一日券付きで考えています。 ヤッパ 温泉のある 所ダヨネツ

決定最低人員 30名

申込締切 12月23日(祝)

申込先 坂橋 誠

(新湊市八幡町3の16の7) 電話 0766 (84) 6329

手ごしらえからのお知らせ

海王丸運動会について

11月3日(祝)の展帆日、12時30分～13時30分の間にマスト対抗ミニ運動会(第3回ネブチユニヤード)を行います。種目等については当日お知らせします。なお、優勝チームには豪華賞品を用意しておりますので、奮ってご参加下さい。

アンペンディング・セイルについて

11月4日(火)、5日(水)に帆装ギアおよびセイルの取り外し作業を行います。参加希望の方は同封のはがきでご連絡下さい。当日は昼食を用意いたします。皆様のご協力をお願いします。

日時 11月4日(火)～5日(水) 記

9時～16時 (雨天および強風時は8時に延期の決定をします。)

作業内容 セイルの搬入、帆装ギアの整理および搬入

舵輪

Tシャツのデザイン募集について

現在ボランティアの皆様にお渡ししているTシャツは、過去の実習生が考案したものです。そこで、皆様からデザインを募集し、オリジナルを作製しようと考えております。我こそは！と思われる方は市川までお寄せ下さい。締切は11月11日です。お忙しいとは思いますが、よろしく願います。ぜひとも自分達で考案したTシャツを着ようではありませんか。

98 帆船海王丸カレンダーの斡旋

写真コンテストの優秀作品で作られる海王丸カレンダーをご希望の方は財団へお申し込み下さい。

今年にはカレンダーのデザインを一新する予定にしております。デザインは、富山県のトップデザイナーであり、写真コンテストの審査員でもある上野博之氏に依頼しております。どうぞご期待下さい。

価格 千二百円(税込、送料別)

発売予定 11月下旬

『海星』のセイルトレーニングの案内

11月以降、9回のセイルトレーニングが予定されています。詳細についてはお知りになりたい方は市川もしくは次の所へご連絡下さい。

(財)日本セイルトレーニング協会
〒113 東京都文京区本郷
1の14の4

南陽堂ビル4階

電話 03(3818)

6272

FAX 03(3818)

7816

ボートの豆知識

『海の法律・・・海上衝突予防法』

船を操縦することを我々の業界用語では、「操船(そうせん)」と言っています。今回は、操船するための基本となる法律「海上衝突予防法」についてお話ししましょう。

海の上には、様々な国籍の船が航行しています。富山沖の日本海にもロシア船、韓国船、日本船など漁船も含めて大小様々な船が航行しています。これらの船が好き勝手に航行すれば、衝突事故が絶えないこととなりますので、衝突事故を防止するために全世界共通のルールとして「海上衝突予防法」が作られました。

この法律は、第1条から第44条まであり、操船するにあたっての基本的な航海や船舶の信号などが規定されており、船乗りにとってはバイブルとも言える法律です。

それでは、この法律に規定されている代表的な航海等について説明します。

追越し船の航海

追越し船は、追い越される船舶の進路を避けなければならない。

行き会い船の航海

2隻の動力船が真向かいから行き会った場合は互いに針路を右に転じて避けなければならない。

横切り船の航海

2隻の動力船が進路を横切る場合は、他の動力船を右舷に見る動力船が進路を避けなければならない。

また、海上衝突予防法では、船舶の大小については、規定されていませんので大型タンカーが漁船などの小型船を避けなければならないこともあります。ちなみに船の飲酒運転については、明確に禁止されていませんが、事故を起こせば、第39条(注意等を怠ることについての責任)の規定により罰せられることになるでしょう。

展帆祭

月日 天候 参加者 その他

9/14 雨 中止 海洋講座(港の作業) 甲板作業(セイル作製等) 25名

10/5 雨のち曇 中止(午後から業務課のメンバーにてインナージブ、メイン&ミズントップマストステイスルおよびジガーステイスル展帆) 甲板作業(セイル作製等) 21名

あとがき

そろそろ秋かな!と思っていると、急に寒くなり、慌てて防寒着や暖房の準備を始めます。四季を感じる事ができる日本は素晴らしい国だと思っただけでしょうか。

先日、今年度最後の海洋教室を終え、総帆展帆も残すところあと二回となりました。一年間の行事のほとんどが終わっていく中で、まだまだ至らぬ点がたくさんあることを痛感している今日このごろです。

海王丸が富山に来て以来、初めて二回連続で総帆展帆が中止となりました。前回の展帆から約二ヶ月あいています。次の総帆展帆では、十分注意し、事故やけが等のないよう作業にあたられることを望んでおります。

ITTY